

# 長周期地震動階級の名称 (事務局 素案)

# 長周期地震動の階級区分の表現に対するご意見

## 【階級の表現に対するご意見】

- ・数字だけでは震度との区別がつきにくい
- ・震度とは異なるものであると認識できた方がよい
- ・数字が表示されると階級の違いが分かりやすい
- ・文章や口頭などで共通に利用できる表現がよい



長周期地震動による揺れの大きさを簡潔に表現でき、かつ、広く認知されている震度との混同を避け、かつ、文章や口頭などで共通に利用できる表現はどうあるべきか。

### <様々な情報における階級に対する表現方法>

表現方法	事例
階級数値、用語・表現を併用	噴火警戒レベル、雷活動度、河川水位 など
カラーコード	米国における航空機用噴火情報 など
用語・表現	雨・風の強さ、波浪表、紫外線情報、外務省渡航安全情報、米国テロ警戒レベル など
階級数値	震度、竜巻発生確度 など
情報名とカラーレベル	東海地震に関連する情報、国立感染症研究所 インフルエンザ警報・注意報

表現方法	メリット	デメリット
用語・表現	現象の種別、状況をイメージしやすい 文章で使いやすい	一つの表現に対し個々人でイメージが異なる
カラーコード(カラーレベル)	危険度をイメージしやすい	文章では使いにくい
階級数値	簡潔で分かりやすい	数字だけでは他の情報と混同するおそれがある
情報名	発表した情報種別で区分しやすい	情報種別が増える

# 様々な情報における階級の利用例

## 【用語・表現の例(文章)】

ゼンコクジヨウホウ1キシヨウ  
 大雨と雷及び突風に関する全般気象情報 第3号  
 平成24年8月11日16時20分 気象庁予報部発表  
 (見出し)  
 これから13日にかけて、西日本から北日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定となるため、雷を伴った**非常に激しい雨**が降り、局地的に大雨となるでしょう。河川の増水やはん濫、低い土地の浸水、土砂災害に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意してください。  
 (略)  
**[防災事項]**  
 これから13日にかけて、西日本から北日本の広い範囲で、雷を伴った1時間に**50ミリから70ミリの非常に激しい雨**が降り、大雨となる所があるでしょう。局地的には、**1時間に90ミリから100ミリの猛烈な雨**の降る所がある見込みです。  
 (略)

## 【階級数値と表現の例(文章)】

火山名 口永良部島 噴火警報(火口周辺)  
 平成23年12月15日15時00分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台  
 \* \*(見出し) \* \*  
 <口永良部島に火口周辺警報(**噴火警戒レベル2、火口周辺規制**)を発表  
 >  
 火口から概ね1kmの範囲では、噴火に対する警戒が必要。  
 <**噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に引上げ**>  
 (略)

## 【階級数値の例(文章)】

地震情報(震源・震度に関する情報)  
 平成25年2月19日21時32分 気象庁発表  
 きょう19日21時27分ころ地震がありました。  
 震源地は、千葉県東方沖(北緯35.3度、東経141.2度)で、震源の深さは約30km、地震の規模(マグニチュード)は5.8と推定されます。  
 (略)  
**[震度3以上が観測された市町村]**  
**震度3 神栖市 宮代町 銚子市 旭市 千葉一宮町 睦沢町 長生村 白子町 香取市 市原市 いすみ市**  
 (略)

## 【カラーコードの例(文章)】

ALASKA VOLCANO OBSERVATORY DAILY UPDATE  
 Tuesday, February 19, 2013 12:00 PM AKST (Tuesday, February 19, 2013 21:00 UTC)

CLEVELAND VOLCANO (CAVW #1101-24-)  
 52°49'20" N 169°56'42" W, Summit Elevation 5676 ft (1730 m)  
 Current Volcano Alert Level: **WATCH**  
 Current Aviation Color Code: **ORANGE**

Clouds obscured the summit of Cleveland Volcano satellite images over the past 24 hours. AVO has received no other reports of activity.

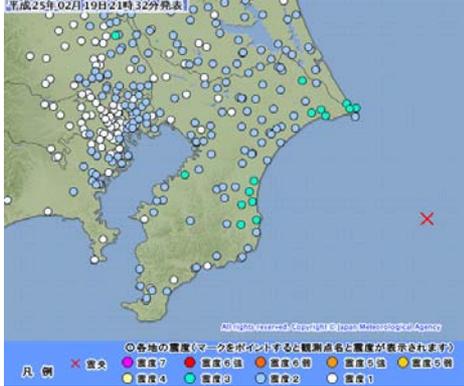
VOLCANO INFORMATION ON THE INTERNET: <http://www.avo.alaska.edu>  
 RECORDING ON THE STATUS OF ALASKA'S VOLCANOES (907) 786-7478

CONTACT INFORMATION:  
 John Power, Scientist-in-Charge, USGS  
 jpower@usgs.gov (907) 786-7497

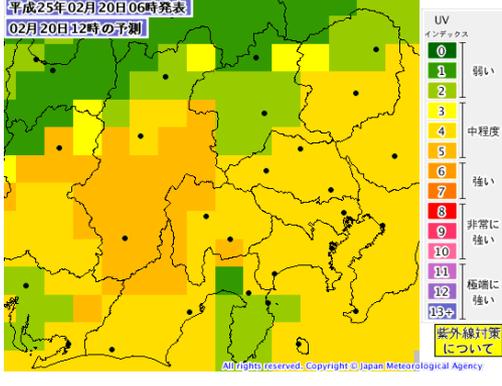
Jessica Larsen, Acting-Coordinating Scientist, UAFGI  
 jflarsen@alaska.edu (907) 474-7992

The Alaska Volcano Observatory is a cooperative program of the U.S. Geological Survey, the University of Alaska Fairbanks Geophysical Institute, and the Alaska Division of Geological and Geophysical Surveys.

## 【階級数値の例(図)】



## 【用語・表現の例(図)】



# 揺れの周期や物理量と表現との関係

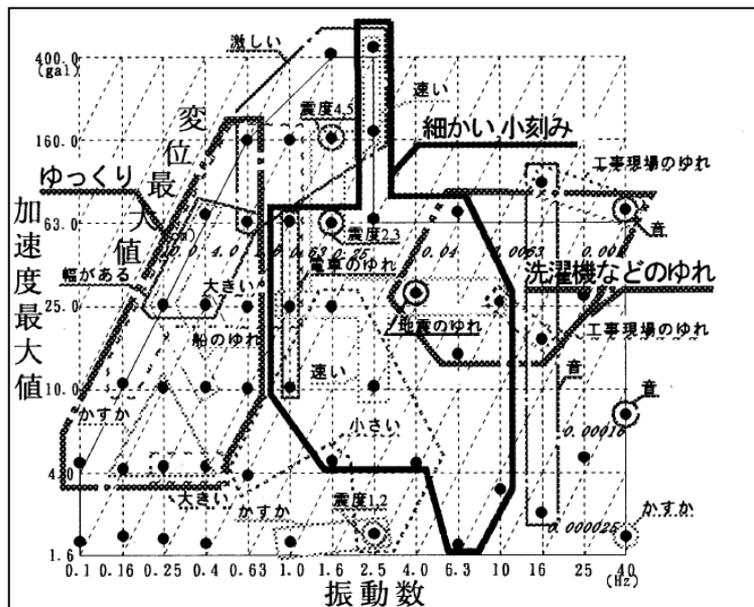


図4 振動の様子を表現する言葉があらわれる範囲

野田ほか(2000)  
揺れ性能に関する要求レベルの分かりやすい表現 - その1 言葉による振動感覚の表し方 - 日本建築学会学術大会梗概集 より

	測定である振動に着目する言葉	高周に働きかける強さを表す性質の強い言葉	受け手である人間の状態に着目する言葉	
表現として適切な言葉	1. 速度を中心に振動をとらえた表現 大きい 小さい	2. 振動数を中心に振動をとらえた表現 短い 長い 細かい 荒い 鋭い 鈍い 多い 少ない 速い 遅い だるい	3. 振動に着目した強さの表現 あわただしい 着いた 厳しい 緩い はげしい やさしい きつい やさしい おとなしい	4. 感覚に働きかける強さの表現 強い 弱い
加速度				
振動数				
変位				
振動に対する感覚の表現	7. 振動に着目する傾向を示す表現 高い 低い		5. 人間の状態に着目した強さの表現 辛い 楽 不安 怖い 怒らない 耐えられない 耐えられる	
			6. 人間の状態の具体的な表現 不快である 不快でない 気持ち悪い 気持ちいい 心地悪い 心地よい	
			8. 人間の状態に着目する傾向を示す表現 うつつしい すがすがしい しつこい あつさりした	
			9. 人間の状態に着目するが不適切な表現 ありふれた めづらしい	

図-8 水平振動に対する感覚を表現する言葉と物理成分との関連

石川ほか(1994)  
水平振動感覚を表現する形容詞・用語がもつ意味 日本建築学会計画系論文集 第455号より

- ・野田ほか(2000)は、「ゆっくり」「幅がある」という言葉で表現される振動数が0.1~0.63Hzの範囲に、「細かい、小刻み」という言葉で表現される1.0Hz以上の範囲に大別されるとしている。
- ・石川ほか(1994)は、「強い、弱い」という感覚に働きかける強さの表現は加速度との相関が良く、「大きい、小さい」は、速度や中心に振動を捉えた表現としている。
- ・野田ほか(2000)は、大きいという言葉は0.16~1.0Hzを中心に表現され、特に変位が0.63~10.0cmの範囲に多い、としている。



震度と長周期地震動に関する情報が対象とする周期帯は異なること、長周期地震動に関する情報では、速度で階級を区分することを考慮すると、長周期地震動に関する情報の階級に表現・用語を用いる場合は「大きい」という表現が適当ではないか。

# 長周期地震動の階級区分の表現(素案)

長周期地震動による揺れの大きさを簡潔に表現でき、かつ、広く認知されている震度との混同を避け、かつ、文章や口頭などで共通に利用できる表現はどうあるべきか。

- 素案1、素案2の考え方:揺れの大きさの違いを表現やカラーで区別し、震度との混同を避けるため数字を使わずに表記する
- 素案3、素案4の考え方:揺れの大きさの違いを表現するため数字を用いるが、震度との混同を避けるため現象についての表現を加える
- 素案5の考え方:揺れの大きさの違いを表現するため数字を用いるが、震度との混同を避けるため頭文字を加える

階級数値	素案1 現象の表現	素案2 カラーコード	素案3 現象の種別+階級数値	素案4 現象の表現+階級数値	素案5 階級値に頭文字を付ける
1	やや大きな揺れ	黄 yellow	長周期地震動レベル1	大揺れ度1	LL1
2	大きな揺れ	橙 orange	長周期地震動レベル2	大揺れ度2	LL2
3	非常に大きな揺れ	朱 vermilion	長周期地震動レベル3	大揺れ度3	LL3
4	猛烈な揺れ	赤 red	長周期地震動レベル4	大揺れ度4	LL4
5	激烈な揺れ	紫 purple	長周期地震動レベル5	大揺れ度5	LL5

階級	カラーイメージ
1	黄
2	橙
3	朱
4	赤
5	紫

階級5は、前回の検討会で4より上位の階級を作成するべきではないか、というご意見があったことを踏まえて検討したもの

# 階級に対する表現方法の事例

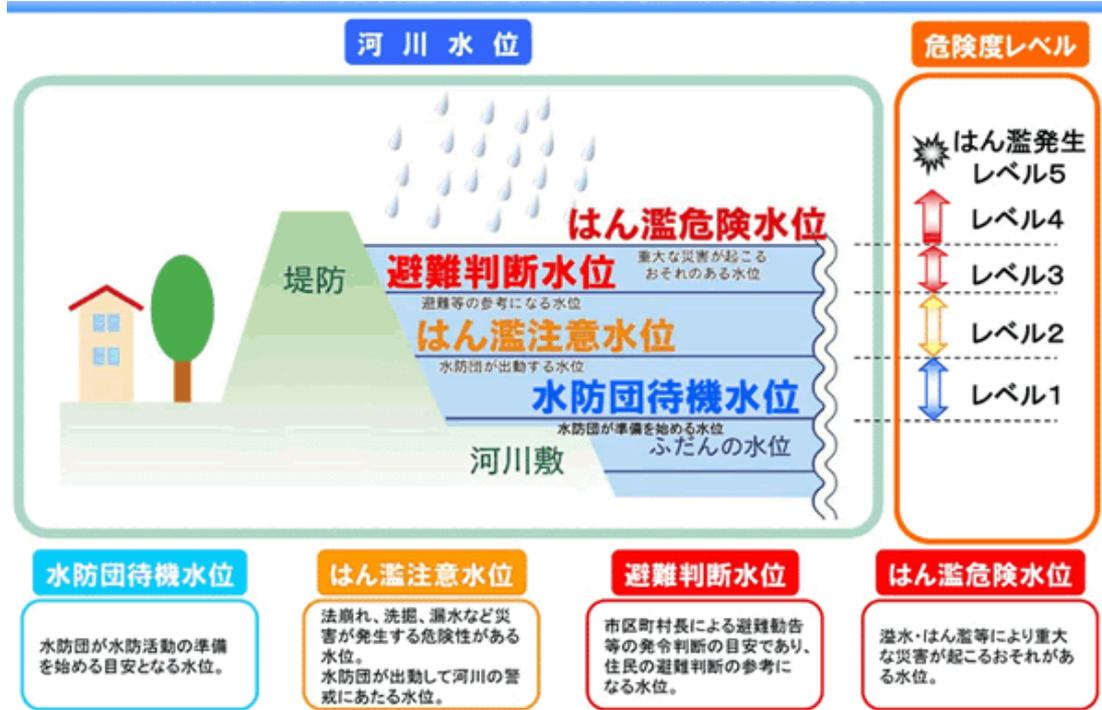
# 階級区分に対し、階級数値、用語・表現を適用したもの①

気象庁  
雷ナウキャスト

活動度	雷の状況		屋外において想定される対応	屋内や工場などで想定される対応
4	激しい雷	落雷が多数発生している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●屋外にいる人は落雷の危険があるため、建物や車の中へ移動するなど、安全確保に努める。</li> <li>●屋内にいる人は外出を控える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パソコンなど家電製品の電源を切り、コンセントを抜く。</li> <li>●工場の生産ラインなどリスクの大きい場所では、作業の中止や自家発電への切替などの対応をとる。</li> </ul>
3	やや激しい雷	落雷がある。		
2	雷あり	電光が見えたり雷鳴が聞こえる。落雷の可能性が高くなっている。		
1	雷可能性あり	現在、雷は発生していないが、今後落雷の可能性はある。		
			今後の雷ナウキャストや空の状況に注意する。	

※ 活動度1～4になっていない地域でも、積乱雲が急速に発達して落雷する場合がある。

気象庁、国土交通省、都道府県  
指定河川洪水予報



# 階級区分に対し、階級数値、用語・表現を適用したもの②

気象庁 噴火警戒レベル

警報・予報	対象範囲	レベルとキーワード		説明			
				火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応	
噴火警報 (居住地域)  略称 噴火警報	居住地域 及び それより 火口側	レベル5	避難		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要（状況に応じて対象地域や方法等を判断）。	
		レベル4	避難準備		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まってきている）。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要（状況に応じて対象地域を判断）。	
噴火警報 (火口周辺)  略称 火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで	レベル3	入山規制		居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活（今後の火山活動の推移に注意。入山規制）。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等（状況に応じて規制範囲を判断）。
	火口周辺	レベル2	火口周辺規制		火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。	火口周辺への立入規制等（状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断）。
噴火予報	火口内等	レベル1	平常		火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。		特になし（状況に応じて火口内への立入規制等）。

# 階級区分に対し、カラーコードを適用したもの

米国地質調査所 航空機用 火山活動カラーコード

## Aviation Color Code Used by USGS Volcano Observatories

Color codes, which are in accordance with recommended International Civil Aviation Organization (ICAO) procedures, are intended to inform the aviation sector about a volcano's status and are issued in conjunction with an Alert Level. Notifications are issued for both increasing and decreasing volcanic activity and are accompanied by text with details (as known) about the nature of the unrest or eruption, especially in regard to ash-plume information and likely outcomes.

Color	Description
<b>GREEN</b>	Volcano is in typical background, noneruptive state <i>or, after a change from a higher level,</i> volcanic activity has ceased and volcano has returned to noneruptive background state.
<b>YELLOW</b>	Volcano is exhibiting signs of elevated unrest above known background level <i>or, after a change from a higher level,</i> volcanic activity has decreased significantly but continues to be closely monitored for possible renewed increase.
<b>ORANGE</b>	Volcano is exhibiting heightened or escalating unrest with increased potential of eruption, timeframe uncertain, <b>OR</b> eruption is underway with no or minor volcanic-ash emissions [ash-plume height specified, if possible].
<b>RED</b>	Eruption is imminent with significant emission of volcanic ash into the atmosphere likely <b>OR</b> eruption is underway or suspected with significant emission of volcanic ash into the atmosphere [ash-plume height specified, if possible].

# 階級区分に対し、用語・表現を適用したもの①

## 気象庁 雨の強さと降り方、風の強さと吹き方の表

**風の強さと吹き方**  
(平成12年8月作成)。(平成14年1月一部改正)。(平成19年4月一部改正)

平均風速 (m/s)	およその時速	風圧 (kg重/m <sup>2</sup> )	予報用語	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	車に乗っていて	建造物の被害
10以上15未満	～50km	～11.3	やや強い風	一般道路の自動車	風に向かって歩けなくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れる。電線が鳴る	10m/秒で道路の吹流しの角度が水平となる。高速道路で乗用車が横風に流される感覚を受ける	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める
15以上20未満	～70km	～20.0	強い風	高速道路の自動車	風に向かって歩けない。転倒する人もでる。	小枝が折れる	高速道路では、横風に流される感覚が大きくなり、通常の速度で運転するのが困難となる	ビニールハウスが壊れ始める
20以上25未満	～90km	～31.3	非常に強い風		しっかりと身体を確保しないと転倒する。			
25以上30未満	～110km	～45.0	非常に強い風		立っていられない。屋外での行動は危険。	樹木が根こそぎ倒れはじめる	ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外外装材がはがれ、飛び始める	
30以上	110km～	45.0～	猛烈な風	特急列車				屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる

(注1) 表に示した風速は、10分間の平均風速です。風の吹き方は、絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍から3倍以上になることがあります。  
 (注2) 風圧Pは、風速Vの2乗に比例します。上表は箱型の建物の壁が受ける圧力を示しています。(P=0.05・V<sup>2</sup> : P風圧、V風速)  
 (注3) 「強い風」や「非常に強い風」以上の風が吹くと予想される時は強風注意報や暴風警報を発表して警戒を呼びかけます。なお、注意報、警報の基準は地域によって異なります。  
 (注4) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。  
 1. 風速は地形や廻りの建物などに大きく影響されます。風速は、風速計が置かれている地点での観測値ですが、同じ市町村であっても周辺の地形や地物の影響で風速は異なります。  
 2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。  
 3. この表は主に近年発生した被害の事例から作成したものです。今後新しい事例が得られたり、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

**雨の強さと降り方**  
(平成12年8月作成)。(平成14年1月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて	災害発生状況
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる		この程度の雨でも長く続く時は注意が必要
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	ワイパーを速くしても見づらい	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る				高速走行時、車輪と路面の間水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要都市では下水管から雨水があふれる
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合があるマンホールから水が噴出する土石流が起こりやすい多くの災害が発生する
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる					雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要

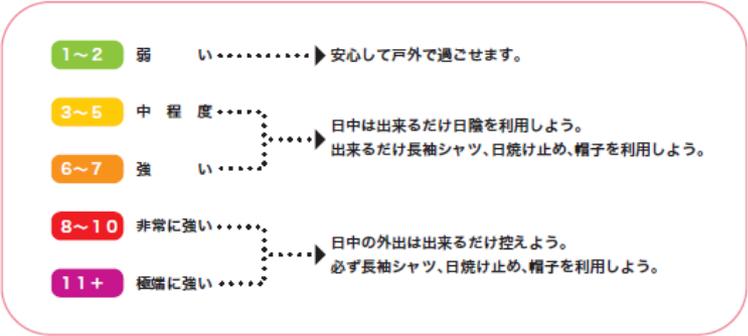
(注1) 「強い雨」や「激しい雨」以上の雨が降ると予想される時は、大雨注意報や大雨警報を発表して注意や警戒を呼びかけます。なお、注意報や警報の基準は地域によって異なります。  
 (注2) 猛烈な雨を観測した場合、「記録的短時間大雨情報」が発表されることがあります。なお、情報の基準は地域によって異なります。  
 (注3) 表はこの強さの雨が1時間降り続いたと仮定した場合の目安を示しています。この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。  
 1. 表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の違いによって被害の様子は異なる場合があります。この表ではある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。  
 2. この表は主に近年発生した被害の事例から作成したものです。今後新しい事例が得られたり、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

# 階級区分に対し、用語・表現を適用したもの②

米国国土安全保安省 テロ警戒レベル



気象庁 紫外線情報



(WHO: Global solar UV index-A practical guide-2002)

気象庁 波浪表

波浪表

用語	波高(m)
おだやか	0から1/10まで
おだやかなほう	1/10をこえ1/2まで
多少波がある	1/2をこえ1 1/4まで
波がやや高い	1 1/4をこえ2 1/2まで
波が高い	2 1/2をこえ4まで
しける	4をこえ6まで
大しけ	6をこえ9まで
猛烈にしける	9をこえる

外務省 海外渡航安全情報

その2: 安全対策の4つの目安(カテゴリー)

「十分注意してください。」	その国・地域への渡航、滞在に当たって特別な注意が必要であることを示し、危険を避けていただくよう、おすすめするものです。
「渡航の是非を検討してください。」	その国・地域への渡航に関し、渡航の是非を含めた検討を真剣に行っていただき、渡航される場合には、十分な安全措置を講じることをおすすめするものです。
「渡航の延期をお勧めします。」	その国・地域への渡航は、どのような目的であれ延期されるようおすすめするものです。また、場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性の検討や準備を促すメッセージを含むことがあります。
「退避を勧告します。渡航は延期してください。」	その国・地域に滞在している全ての日本人の方々に対して、滞在地から、安全な国・地域への退避(日本への帰国も含む)を勧告するものです。この状況では、当然のことながら新たな渡航は延期してください。

# 階級区分に対し、階級数値を適用したものの

気象庁 震度

### 震度と揺れ等の状況(概要)

<b>0</b>	【震度0】人は揺れを感じない。	<b>1</b>	【震度1】屋内で寝かしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	<b>2</b>	【震度2】屋内で寝かしている人の大半が、揺れを感じる。	<b>3</b>	【震度3】屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。				
<b>4</b>	【震度4】ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。床の重い置物が、倒れることがある。	<b>6弱</b>	【震度6弱】立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。耐震性の低い木造建築物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。	<b>5弱</b>	【震度5弱】大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	<b>6強</b>	【震度6強】はわれないと動くことができない。飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山岸の崩壊が発生することがある。	<b>5強</b>	【震度5強】物につかまらないうち歩くことが難しい。棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。固定していない家具が倒れることがある。補強されていないブロック壁が倒れることがある。	<b>7</b>	【震度7】耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。耐震性の高い木造建築物でも、まれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

気象庁 竜巻確度ナウキャスト

**解析**

解析時間 10分毎  
格子間隔 10km

**予測**

予報時間 10分毎に  
60分先まで  
格子間隔 10km

<b>発生確度 2</b>	竜巻などの激しい突風が発生する可能性があり注意が必要である。予測の適中率※は5~10%程度、捕捉率は20~30%程度である。発生確度2となっている地方(県など)に竜巻注意情報が発表される。
<b>発生確度 1</b>	竜巻などの激しい突風が発生する可能性がある。発生確度1以上の地域では、予測の適中率※は1~5%程度であり発生確度2に比べて低くなるが、捕捉率は60~70%程度であり見逃しが少ない。

※ 発生確度2の予測の適中率 : 発生確度2となった場合を「竜巻あり」の予測としたとき、予測回数に対して実際に竜巻が発生する割合

※※ 発生確度1以上の予測の適中率 : 発生確度1以上となった場合を「竜巻あり」の予測としたとき、予測回数に対して実際に竜巻が発生する割合

## ニュージーランド 噴火警戒レベル

Alert Level	Indicative Phenomena	Volcano Status
0	Typical background surface activity; seismicity, deformation and heat flow at low levels.	Usual dormant or quiescent state.
1	Departure from typical background surface activity.	Signs of volcano unrest.
2	Onset of eruptive activity, accompanied by changes to monitored indicators.	Minor eruptive activity.
3	Increased vigour of ongoing activity and monitored indicators. Significant effects on volcano, possible effects beyond.	Significant local eruption in progress.
4	Significant change to ongoing activity and monitored indicators. Effects beyond volcano.	Hazardous local eruption in progress.
5	Hazardous large volcanic eruption in progress.	Large hazardous eruption in progress.

# 階級区分に対し、情報名とカラーレベルを適用したもの

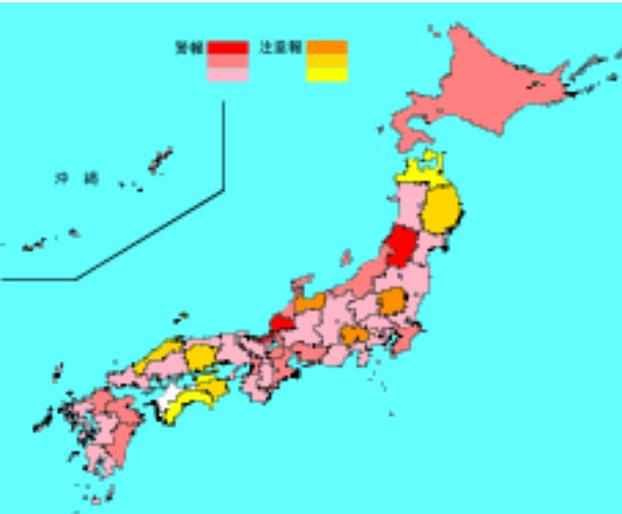
気象庁 東海地震に関連する情報

気象庁が発表する「東海地震に関連する情報」

情報名	主な防災対応等
<h2 style="margin: 0;">東海地震 予知情報</h2> <p style="font-size: small; margin: 5px 0;">東海地震が発生するおそれがあると認められ、「警戒宣言」が発せられた場合に発表される情報</p> <p style="font-weight: bold; color: white;">(カラーレベル 赤)</p>	<p style="font-size: large; color: red; font-weight: bold;">「警戒宣言」</p> <p style="font-size: small;">に伴って発表</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●警戒宣言が発せられると                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○地震災害警戒本部が設置されます</li> <li>○津波や崖崩れの危険地域からの住民避難や交通規制の実施、百貨店等の営業中止などの対策が実施されます</li> </ul> </li> </ul> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">住民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、東海地震の発生に十分警戒して、「警戒宣言」および自治体等の防災計画に従って行動して下さい</p>
<h2 style="margin: 0;">東海地震 注意情報</h2> <p style="font-size: small; margin: 5px 0;">観測された現象が東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表される情報</p> <p style="font-weight: bold;">(カラーレベル 黄)</p>	<p style="font-size: small;">東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●東海地震に対処するため、以下のような防災の「準備行動」がとられます                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○必要に応じ、児童・生徒の帰宅等の安全確保対策が行われます</li> <li>○救助部隊、救急部隊、消防部隊、医療関係者等の派遣準備が行われます</li> </ul> </li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p style="font-size: small;">住民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体などからの呼びかけや、自治体等の防災計画に従って行動して下さい</p>
<h2 style="margin: 0;">東海地震 に関連する 調査情報</h2> <p style="font-size: small; margin: 5px 0;">東海地震に関連する現象について調査が行われた場合に発表される情報</p> <p style="font-weight: bold; color: white;">(カラーレベル 青)</p>	<p style="font-size: small;">観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災対応は特にありません</li> <li>●国や自治体等では情報収集連絡体制がとられます</li> </ul> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">住民の方は、テレビ・ラジオ等の最新の情報に注意して、平常通りお過ごしください</p> <hr/> <p style="font-size: small;">毎月、定例の判定会で評価した調査結果を発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災対応は特にありません</li> </ul> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">日頃から、東海地震への備えをしておくことが大切です</p>

各情報発表後、東海地震発生のおそれなくなったと判断された場合は、その旨が各情報で発表されます

国立感染症研究所 インフルエンザ警報・注意報



流行レベルマップの見方

国立感染症研究所感染症情報センターでは、インフルエンザ流行に関する参考情報として、この「警報・注意報発生システム」により得られた情報の一部を還元提供いたします。具体的には、都道府県ごとに警報レベルを超えている保健所があれば**赤色系3段階**で、注意報レベルを超えている保健所があれば**黄色系3段階**で示してあります。色の段階は各都道府県の保健所数に対して警報・注意報レベルを超えている保健所数の割合です。また、都道府県ごとに全保健所数と警報・注意報レベルを超えている保健所の数を見ることもできます。

		警報・注意報レベルを超えている保健所数の割合	
警報	大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。	70 ---> 100%	
		30 ---> 70%	
		0 ---> 30%	
注意報	流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。	70 ---> 100%	
		30 ---> 70%	
		0 ---> 30%	